

令和3年度 協働支援施設 設備貸出要項

(目的)

第1条 この要項は、協働支援施設を区民活動団体の活動の場、情報交換の場、出会いの場としてより有効に活用するため、ロッカーを無料で貸し出すことについて必要な事項を定めることを目的とする。

(貸出設備)

第2条 ロッカーの貸出数は、18台とする。1団体あたり1台の申請とする。

(貸出期間)

第3条 貸出期間は、2021年10月1日から2022年3月31日までとする。

2 協働支援施設で活動実績のない団体については貸出期間を3ヶ月間とし、その期間に活動実績が認められた場合は、上記貸出期間を満了することができるものとする。

(保証金)

第4条 保証金は、ロッカー1台につき1,000円を、大田区区民活動支援施設業務受託事業者であるNPO法人大森コラボレーション（以下「受託事業者」という。）が預かるものとする。

2 保証金は、使用期間満了時に保管品を撤去し、現状の回復を確認した後に鍵の返却をもって返還するものとする。

3 使用期間満了後、保管品を撤去しない場合には、保証金は返還しないものとする。

(使用資格及び申請資格)

第5条 使用資格及び申請資格については、次の各項に該当する団体とする。

(1) 大田区区民活動情報サイト登録基準（平成23年7月14日付22地地発第11297号区長決定）に基づき登録している区民活動団体

(2) 協働支援施設を拠点に月1回程度または定期的に活動している団体または活動が見込まれる団体

(申請方法)

第6条 設備を使用しようとする団体は、協働支援施設貸出設備使用申請書（第1号様式）を受託事業者に提出しなければならない。

2 提出方法は、受託事業者に持参するものとし、郵送等での提出は不可とする。

(使用許可および決定通知)

第7条 受託事業者は、申請の内容について審査し、第5条の規定により使用団体として決定した場合は、設備使用許可書（第2号様式）を申請団体に交付して決定を通知する。ただし、使用を希望する団体が貸出数を上回った場合は、受託事業者が抽選により決定する。

2 使用団体としないことを決定した場合は、その旨を書面により申請団体に通知する。

（使用箇所）

第8条 設備の使用箇所については受託事業者が指示するものとする。

2 使用の許可を受けた団体（以下「使用団体」という。）は、指示された使用範囲を超えて使用しないものとする。

（使用方法）

第9条 使用団体は、設備を適正に管理し使用するものとする。

2 使用団体は、設備を他の目的に使用し、もしくは他に転貸してはならない。

3 使用団体は、貸出期間満了までに保管品を撤去するものとする。貸出期間満了後、保管品を撤去しない場合には、受託事業者が保管品を処分できるものとする。

（使用の取消等）

第10条 受託事業者は、使用団体等が次の各号のいずれかに該当する場合には、使用の許可を取り消すことができる。

(1) この要項の規定に違反したとき。

(2) 設備使用許可書（第2号様式）に定める使用上の遵守事項に違反したとき。

(3) その他やむを得ない事由が生じたとき。

（損害等）

第11条 使用団体は、設備に損害を生じさせたときは、修理その他賠償の責めを負わなければならない。

2 設備の使用によって生じた事故等については、使用団体の責任において処理するものとする。

(受託事業者)

NPO 法人大森コラボレーション

理事長 齋藤 十四 男 様

協働支援施設 貸出設備 使用申請書

令和3年度協働支援施設設備貸出要項第6条の規定により、下記のとおり設備の使用申請をします。

団体名			
所在地	〒		
代表者	フリガナ 氏名		電話番号 FAX番号
担当者 ※事務連絡が できる方	フリガナ 氏名		電話番号 FAX番号
	住所	〒	
	E-mail	※cbc10286@nifty.comからのメールを受け取れるように設定して下さい。	
申請設備	ロッカー		
申請期間	2021年10月1日から2022年3月31日まで(最長1年間) ※活動実績のない団体については、3ヶ月間の貸出期間とするが、活動実績が認められた場合は、上記の期間まで使用できる。		
協働支援施設 での活動状況	(記入例・・・ミーティングルーム月2回、体育館月3回)		
申請理由			

※上記の必要事項は記入漏れのないようにお願いします。